

# 「核廃絶を」NYでデモ

## 被爆者とNGO

米国で3日から開かれる核拡散防止条約（NPT）再検討会議を前に、各国から集まった平和団体や非政府組織（NGO）のメンバーが2日、被爆者とともにニューヨーク市内をデモ行進した。30度を超える強い日差しの下、兵庫県から来たメンバーもプラカードを手に「核兵器のない世界へ」と訴えた。（1面参照）

デモ行進は前日、爆発騒ぎのあったタイムスクエアから出発。米国をはじめ英国、フランス、スウェーデンなどから来た約1万人が国連本部までの約2キロを歩いた。日本からは約2千人が折り鶴やこいのぼりで核廃絶をアピール。兵庫県水協、日本生活協同組合連合会、日本原水爆被害者団体協議会など兵庫の約60人も参加した。終着点

## 兵庫からも参加 NPT会議前に訴え



「核なき世界」への期待を込めてデモ行進する兵庫県からの参加者＝ニューヨーク（梶本さん提供）

となった国連前の広場 被爆者歓迎レセプションで、「核廃絶条約の締結で、貞清百合子さん（71）交渉開始」を求める署名 〓神戸市灘区〓らがスピを国連のドゥアルテ軍縮 ーチする予定。4日には、担当上級代表に手渡し 〓 NGOが各国政府代表に署名を渡す場を国連が設

兵庫原水協の梶本修 定。梶本事務局長は「世史事務局長は「各国のN 論の後押しを受け、核廃GOが核廃絶で一致し、 絶の流れを少しでも進め行動した意義は大きい」 たいとする国連の意志が 伝わってきた」と話した。

国連が主催する3日の

（小西博美）